

里山ハイキングと餅つき山行（日和田山）

（報告） Oka

◎期日：2017年2月25日（土）

◎参加者：Aki(L)、Aka、Oka、Kwa、Kchi、Kni、Saka、Sachi、Mitsu、Fyu、Fj、Hama、Hoshi 以上14名

西武池袋線の高麗駅からのどかな田園風景、巾着田を展望できる日和田山に登り、奥武蔵、中野の集落、餅つき民宿で有名な啓明荘での宴会コースは、2015年1月に次いで2回目の企画である。この周辺は奥武蔵山城の南端に位置し、日和田山の300m前後から北上し、538mの顔振峠、770mの関八州見晴台、北端の県民の森のある丸山（960m）と続いている。低山ではあるが交通の便もよく、変化に富んだコースを組むことができる。私にとっては高校時代からのホームグラウンドの一つである。

集合の高麗駅前には早朝のせいか数パーティーである。駅左手から踏切を渡り、信号のある国道を渡って十字路を直進。5分ほどで県道を右に高麗川に掛かる鹿台橋を渡る。川沿い左手に行くと日和田山ロックガーデンへの道。100m程進んで左手に折れ、人家を横にゆるやかに登ると日和田山の登山口である。トイレ、ベンチなどもあり整備されている。ひと登りすると鳥居があり、男坂・女坂の分岐、我々は全員左手の男坂へ。少し下った所に水場。ここからガレ状の岩場を直進するコースと左手から尾根に出る展望に分かれる。

二手に分かれて登る。小さな岩場を越えると金毘羅神社、快晴で素晴らしい景色が広がる。真下に高麗川が巾着田を包み込むように流れている。

遠くは埼玉副都心、池袋、新宿あたりの高層ビル群、富士山も薄らと遠望できる。その手前は丹沢あたりか。そして中間に奥多摩、秩父連峰、近くに高麗川右岸の山々、まさにパノラマ好展望を満喫する。

社の裏手から鏡岩の横を急登すると宝篋印塔のある頂上である。記念写真を撮り、北端の急斜面を降りる。少し登ると



広い舗装道路に出る。左手、マイクロウェーブアンテナが建つ高指山、木陰の道路を行くと明るく開けた山村、駒高である。茶店、あづまや、トイレがある。道路を離れ、右手の坂をひと登りすると物見山。ベンチもあり恰好の休憩スポット。道端にテントが2張、キャンピングの訓練でもしているのだろうか。

小休止後、西側に向かって行くと、子供を含めた若者達の大パーティーに出会う。互いに元気なエールの交換。右に宿谷ノ滝への道を見送り、左へ小瀬名の民家の横から中野の集落に通じる狭い間道を降りる。舗道に出ると、餅つきの民宿で有名な啓明荘は間もなくである。

既に御主人が前庭で準備中。いよいよ餅つきが始まる。交互についてみるものの、経験のあるAka氏やKni氏とパワーが違う。手慣れた捏取りもないようで手こずっている。

つき上がった餅は女性陣が手際よく、あんこ、きな粉、からみ等に取り分けてくれる。久し振りにつ

きたての餅を堪能する。お土産まで用意して頂き恐縮。別室で鍋料理を囲んで大宴会。Aki 氏持参の銘酒を飲み比べ盛り上がる。至福のひと時。帰路は武蔵横手駅に降りる。

《記録》

9:00 西武高麗駅集合(～9:10) 9:25(～9:30)登山口 10:05(～10:15)日和田山
10:55(～11:05)物見山 11:35 啓明荘 14:10 宴会終了 14:50 武蔵横手駅



「会員の山行リスト」に戻るには 画面最上部左端の 戻るボタン ← で 戻って下さい